品川区立台場小学校・幼稚園　　令和８年８月３１日（月）
台場の灯（ともしび）（校園長通信）No. １６　校・園長　滝渕　正史

引き渡し訓練を実施します



写真は教職員の救命救急訓練の様子

長かった夏休みも今日で終わり、明日から学校（園）が再開します。

今年の夏は、驚くような災害が複数発生しました。まずは、熊本の地震です。震度７という揺れのすごさを、ニュース映像で目の当たりにしました。今も断水が続くエリアが多くあり、多くの方が避難生活を送られていると報道で聞きました。

もう一つは、千葉の豪雨です。昨年品川エリアで発生した大雨を、さらに大きくしたようなものと考えればよいでしょうか。一気の大雨で、市街地に水があふれ、床上浸水の建物や、水に浸かって動けなくなった車が何千台もという報道に驚くと同時に、いつ東京でも起こるか分からない不安な気持ちになりました。実際、深夜の震度４の地震や急な土砂降りなども、つい先日発生してしまいました。

９月１日に実施する引き取り訓練、設定そのものは「関東大震災が発生した日にやる訓練」という意味で、「大きな地震発生による引き取り」にしていますが、現実的に、保護者の皆様にお子さんの引き取りをお願いする場面は、それほど珍しいものではなくなっていると感じています。

７月17日の下校前、急な大雨と雷で、下校時刻を遅らせるという対応をしました。昨年の大雨の際にも同様の対応をしました。今回の千葉県のような規模の大雨に見舞われれば、「雨が小降りになったから下校」とはいかなくなる可能性もあります。街中がどんな様子か、目黒川はどうかなど、丁寧な状況把握が求められるでしょう。場合によっては、子どもだけでの下校という訳にはいかず、引き取りをお願いすることになるはずです。

もちろん大きな地震も、いつ発生するかわかりません。北区の小学校で発生した学校火災などのような事案だって、ないとは言い切れません（あってはならないともちろん思っていますが）。つまり、引き取るための練習として実施する「引き取り訓練」ですが、決して「訓練」だけで終わる話ではなく、このような場面（引き取り）は必ず起こると思っておく必要があると思います。急な大雨、それも想定を超えた降り方の大雨が発生する可能性は、相当高いと言わざるを得ません。

小学校では、学校からの連絡ツールが、tetoru に替わりました。確実に、保護者の皆様にタイムリーに伝わっているでしょうか。これまでのメールは、区内の一斉配信によって、タイムラグが発生するという不具合がありました。時間帯によって、お迎えに来ることができない保護者の方が出る可能性もあると思います。地震にしても大雨にしても、交通網が止まる可能性もあります。学校・園は、保護者の方に直接引き渡すまで、確実にお子さんをお預かりしますので、その点は安心してください。学校からの連絡（tetoru）が確実に届いてるかどうかのチェックをお願いします。不具合があれば、すぐにお知らせください。

※夏季休業期間中は、紙ベースでの配布はせず、配信とホームページのアップのみです。